

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月31日

事業所名放課後等デイサービス クックルームとうじん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	33%	67%	利用者とスタッフでとても密になる日もあるが、遊びと学習の時間調整をしている。	交通至便な場所なのでアクセスは良いですがスペースが狭いという短所があります。密になるのを防ぐため、個々の活動内容や時間を調整したりしています。今後も十分配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切である	67%	33%		既定の職員数は配置していますが、障がいの状態に合わせてより安全に支援するためには足りないと思うことがあります。スタッフの増員や支援方法の工夫等を凝らし、今後も最大限の調整に努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		出入り口にスロープを設置したり、スペースを広くとり手すりなどを設けたトイレを設置しています。さらに、お子様が使いやすいように見直し改善を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	33%		話し合う機会を設けていますが、頻度、内容ともに不十分と認識しております。今後は職員が参画しやすいような場を設定していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		定期的なアンケートを実施し、集約した意見を職員間で共有し業務改善や活動内容等の向上に役立てています。今後も継続していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		毎年、ホームページ等で公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		今年度は外部評価を受ける機会がありませんでした。今後は積極的に取り組んでいきます。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		職員間で研修内容を検討し、年間計画を立て実施しています。コロナ感染予防のため、今年度はリモート開催での参加が多くなりました。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		定期的なアセスメントを行うことで、お子様の発達支援につなげていこう、今後とも丁寧に実施していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	33%	67%		お子様の障がいの特性や支援により変化が必要となった場合はツールを使って検証することもあります。今後は必要に応じて適切に使用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		定期的な会議を実施し、スタッフ同士が意見を出し合い活動内容や方法を決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	67%	33%		今年度は外出の制限があり、安全性を優先したため、同じような活動内容になってしまいました。事業所内での活動は様々な工夫を行いましたが、今後はさらにバリエーションの検討に努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	個別に学習内容を決めている。	細やかに計画を立て実施していますが、ご利用者の状態や利用人数により臨機応変に対応することもありました。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	67%	33%	相性等も考え、活動への参加などを計画を作成している。	お子様の状況に合わせて実施しているため、集団活動では支援方法や対応に細やかな対応が必要でした。今後も十分な支援ができるように工夫していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		お子様の送迎や利用状況により、スタッフ全員が打合せできないことがあります。支援の途中でも個々の課題や目標を確認して共通理解するようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%		可能な限り職員間で情報共有ができるよう、スタッフが気づいたことなどを支援後に支援日誌に記述し、閲覧するようにしていきます。今後も職員間で情報を共有し共通理解のもと支援に努めてまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		スタッフのシフトにより打合せができないこともありますが、日々の記録や連絡ノートを確認することで、可能な限り情報共有を心がけています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	67%	33%		定期的なモニタリングを行い、個々のサービス計画を見直しています。引き続き、職員間でも共有して一貫した支援をしていきます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	67%	33%		日々ガイドラインに沿った活動を計画していますが、実際の支援では不十分なことがありました。今後は創意工夫を図り、改善に努めます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	67%	33%		今後も専門的な立場から責任をもって参画していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校の行事予定等は事前に把握している	学校の行事等はホームページ等で事前に把握するようにしています。また、学校への迎えの際に担任と情報交換を行っています。今後も必要に応じてお子様の変化などを伺い、適切な対応を行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		就学前の状況については保護者様からの情報が大半を占めており、契約後にお子様の状態を把握していることが現状です。今後は情報共有できるように努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		卒業後に同法人の生活介護事業所へ移行する場合は、職員間で十分な情報提供を行っています。他の事業所への移行についても、伝達方法を検討し実施していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%		お子様の障がいの特徴を把握している専門機関と連携することもあり、助言により支援計画を作成したり、職員の共通理解に役立てています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今年度は外部との交流や接触は可能な限り避けました。今後は感染症の状況を見ながら十分注意して慎重に再開を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		感染症に注意し、参加できるよう努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		今後とも保護者様と丁寧なコミュニケーションを図っていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		具体的な支援はできていませんが、保護者様の質問や相談には丁寧に応じながら、専門的な助言をし、ご理解いただいています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	67%	33%		契約時や支援計画の見直し作成時などに折に触れて説明を行っていますが、周知が不十分なことがありました。今後も丁寧な説明を行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	33%	67%		保護者様からのご相談時に具体的な事例を通して対応することもあります。十分とは言えない現状です。今後も丁寧にわかりやすく対応していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		今年度は保護者同士が対面で交流することはできませんでした。今後はインターネットや広報誌等を通じて連携がとれるように工夫していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		今後も迅速かつ丁寧な対応を継続して実施していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		インターネット環境が整っていないご家庭に対しては、お子様の活動状況がわかるように、文書等でも発信するなど工夫していきます。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		今後も漏れないように丁寧な対応を行っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	積極的に配慮している。	障がいの特徴や状態を把握し、保護者様と十分な共通理解を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		お子様の感染予防のため現在は交流を休止していますが、職員が代わりに出向き地域との連携が途切れないようにしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		定期的に各マニュアルを見直し、最新の対応を保護者様への文書伝達と同様に職員間でも周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		ご利用状況に応じて避難訓練への参加ができるように配慮するとともに、保護者様への周知を進めていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待防止の研修を受講し、職員間で共通意識を持つように心がけています。今後も継続していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	100%		身体拘束の考え方と定義が正しく認識されていない部分がありました。今後は、職員が統一した正しい理解を持つために研修を計画、実施し共通理解を図っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	33%	67%		重い食物アレルギーのあるお子様はおられません、必要に応じて保護者様に確認を行っています。今後も安心してご利用いただけるよう、保護者様と丁寧な情報共有を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハットは迅速に本部に報告し、各事業所間で共有することで重大な事故を未然に防ぐことができます。今後も職員間で周知徹底していきます。